

内航船舶輸送統計速報 (令和 6 年 5 月分)

1. 概況

総輸送量は、25,543 千トン（前年同月比 3.5%増）、13,330 百万トンキロ（前年同月比 5.4%増）であり、大型鋼船は 16,898 千トン（前年同月比 3.5%増）、9,836 百万トンキロ（前年同月比 6.6%増）、小型鋼船は 7,443 千トン（前年同月比 2.5%増）、3,263 百万トンキロ（前年同月比 2.3%増）であった。

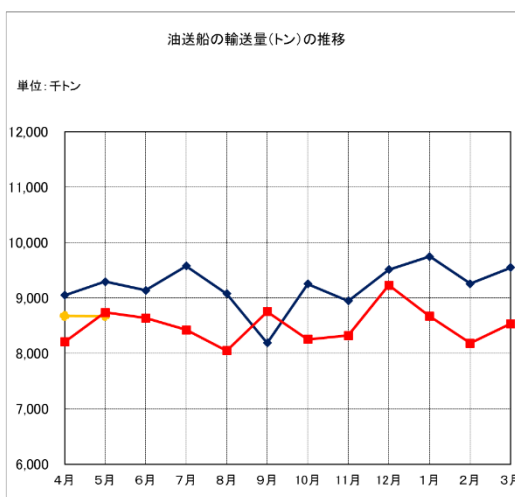
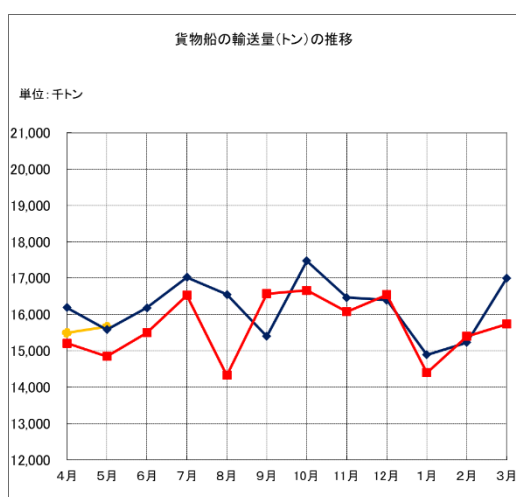
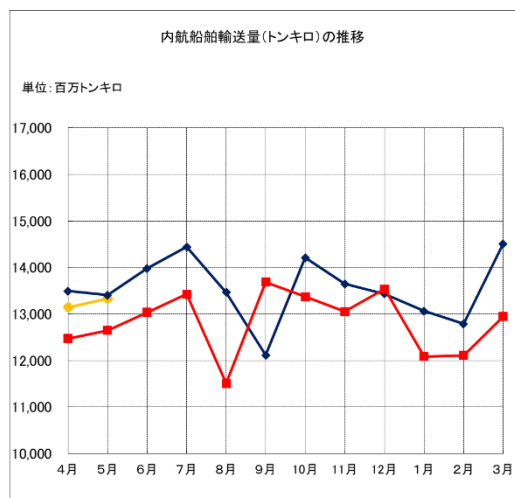
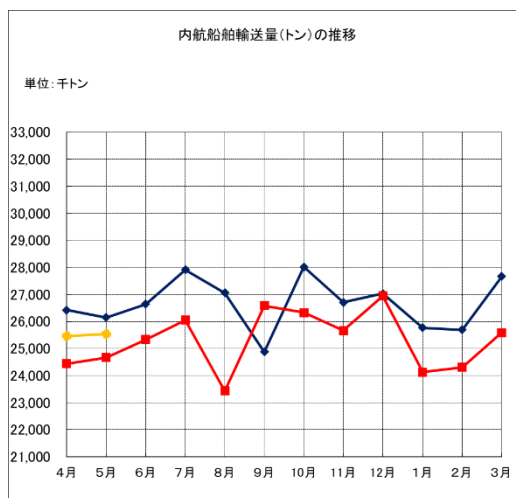
貨物船は 15,667 千トン（前年同月比 5.5%増）、8,501 百万トンキロ（前年同月比 6.9%増）であった。

油送船は 8,674 千トン（前年同月比 0.7%減）、4,599 百万トンキロ（前年同月比 3.0%増）であった。

プッシャーバージ・台船は 1,202 千トン（前年同月比 11.3%増）、231 百万トンキロ（前年同月比 1.8%減）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	25,543	103.5	13,330,260	105.4
大型鋼船	16,898	103.5	9,836,072	106.6
小型鋼船	7,443	102.5	3,263,359	102.3
プッシャーバージ・台船	1,202	111.3	230,829	98.2
貨 物 船	15,667	105.5	8,500,635	106.9
油 送 船	8,674	99.3	4,598,796	103.0
プッシャーバージ・台船	1,202	111.3	230,829	98.2



凡例：◆ 令和4年度（2022年度） ■ 令和5年度（2023年度） ● 令和6年度（2024年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111（内線 28-748）

担当：染谷、木綿